

地域の光る生き物生態マップを作ろう！

—ホタル・ミミズ等—

メンバー：伊木恩海, 中野輝希, 岡田拓, 廣中亜衣, 藤田莉央, 村岡怜真

趣旨

- ・光る生き物(発光生物)の存在は知られているが、身近な生き物としての認識は未だに浸透していない。
- ・身近に生息する光る生き物(発光生物)を調べ、生態マップとして記録することで認知を広げ、地域理解に繋げる。

各採集結果

イソミミズ



撮影：伊木 撮影：伊木 提供：大場

採集方法

- ・河和港, 佐久島の砂浜にて海藻・朽木下10cm程度掘り, 採集を行った。

結果

- ・河和港では本企画以前と同様に採集できた。
- ・佐久島で採集された記録は存在せず, 本チャレンジサイトで初めて確認された。
- ・従来の記録を含めると, **愛知三島(佐久島・篠島・日間賀島)全てにおいてイソミミズが確認された。**

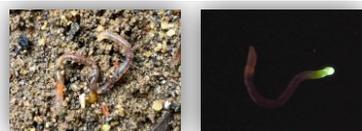


[佐久島で確認された箇所]



[愛知県で確認された箇所]

ホタルミミズ



撮影：伊木 提供：大場

採集方法

- ・大学構内の日当たりが悪く, 湿り気のある土壌を選択し, 表層5cm程度を掘り, 採集を行った。

結果

- ・これまで記録された場所に加え, 新たに4箇所を確認。
- ・特に**図書館横の植木付近, 経営情報学部等前に多く確認できた。**



[中部大学構内で確認された箇所]

ザウテルアカイボトビムシ

採集方法

- ・大学構内の森林に堆積する落葉層で, 目視による採集を行った。



Oba et al., 2011より一部改変

結果

- ・形態的に類似した個体を採集できたが, DNA解析, 形態観察, 発光確認を通して大学構内で採集された個体は**いずれも本種とは異なった。**

ヒメボタル

採集方法

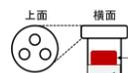
- ・幼虫を対象とし, 中部大学構内の森林の表層土壌に罠を仕掛けた。



撮影：大場

結果

- ・**採集は出来なかった。**



エサ 濡った織布



撮影：畠

展望・課題

- ・地域交流活動に重きを置き, 認知の拡大, 地域理解に繋げる。
- ・発光生物が生息する環境の定量的な調査を行い, より詳細な生態マップの作成を行う。
- ・他学科の学生を交えた活動を実施できなかったため, 他学科の学生と交流できるような具体案を実行する。

参考文献

大場裕一, 2012. 日間賀島のイソミミズの記録. 三河生物 4:61-62.
大場裕一, 内藤将志, 金部彦, 金城星太, 豊田稜介, 2016. 中部大学キャンパス内におけるホタルミミズの分布記録. 生物機能開発研究所紀要 17:86-89.
金部彦, 内藤将志, 鈴木義雄, 中井達介, 大場裕一, 2016. 篠島と河和港のイソミミズの記録. 三河生物 8:67-68.
Oba, Y., Branham, M.A., and Fukatsu, T., 2011. The terrestrial bioluminescent animals of Japan. Zool. Sci. 28, 771-789.



中部大学